

1階エントランス展示「『解体新書』の世界」
 (会期 平成29年3/1～7/31) と、
 2階常設展示で公開中の本物の『解体新書』
 『ターヘル・アナトミア』をご覧いただいた方
 先着500名様に、「解体新書ノート」を進呈
 いたします。

『解体新書』

解体図一卷 安永三年

杉田家三代目の杉田玄白（
 若狭藩邸で誕生しました。少
 少い仕え、同じく小浜藩医の
 、文化十四年（1817）に注

は、玄白が自身の医学に対
 という書籍に挿入されてい
 って描かれたものです。
 の一つである『解体新書』は
 ミア (Ontleedkundige Tafel
 玄白・中川淳庵・桂川甫周・

先田杉齋繪

ナ
 に
 の小田野
 が描いたもので、『解体
 新書』の表紙として有
 図はこの図集の内表紙
 された。

『ターヘル・アナトミア』
 フランス語版 (『Tables Anatomiques』) 1724年刊

『ターヘル・アナトミア』は、ドイツ人医師カ
 ンプターによって書かれた
 解剖学の本です。

明和8年（1771）に、小浜藩医で本草学者であ
 りて来たオランダ商館長一行から『ターヘル
 語版 (『Ontleedkundige Tafelen』) と『カスバ
 を借用してきました。

この書籍を見た小浜藩医の杉田玄白は、小浜藩
 に仕えていた藩士の周新左衛門と會（青野）小左衛
 門主君にこの高価な本を小浜藩で購入してほしいと
 頼み、藩はこれを認めました。

その後、

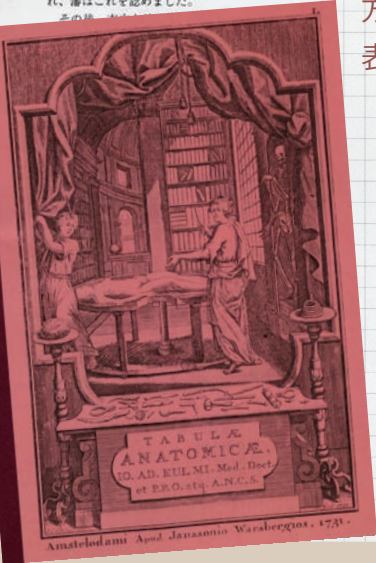
今年で没後200年となる若狭小浜藩医の杉田玄白が関わった『解体新書』と
 その原書である『ターヘル・アナトミア』を深く知るための小冊子です。
 『解体新書』と『ターヘル・アナトミア』（どちらも当館蔵）の解説、解剖図、
 方眼仕様で使いやすいノート部分で構成されています。
 表紙は、両書籍の有名な扉絵がデザインされており、上品な仕上がりです。

(B6版、全32頁)

※1階エントランス展示は、無料スペースですが、2階常設展示は、有料（一般300円、
 高校生以下と満70歳以上の方、身障者手帳等をお持ちの方は無料）です。

※「解体新書ノート」の数が無くなり次第、終了します。

福井県立若狭歴史博物館



ほぼ実寸大